

## 第2学年東組国語科「1年生も1人でできるもん、マイおもちゃの説明書作り

～『おもちゃの作り方をせつめいしよう』～

### 実態把握資料

学習指導者 岡根 平

#### 1 「さ・ぬ・き力」(非認知能力)に関する子供(36名)の実態

授業づくりの重点項目		
<p><b>さ力</b></p> <p>社交性</p> <p>共感性 協調性</p>	<p><b>ぬ力</b></p> <p>目標への情熱</p> <p>粘り強さ 忍耐力</p>	<p><b>き力</b></p> <p>自分を信じる力</p> <p>回復力 自制心</p>
<p>「協調性」の自覚度が高く、友達と意見が違っていてもきちんと聞こうとしたり、友達と一緒に活動したりしながら学習に取り組んでいることが伺える。また、「社交性」の自覚度も高く、人と積極的に関わろうとしている子供が多い。授業中でも、自分からたくさんの友達のところに行って交流の様子が見られる。一方で、「共感性」の自覚度が低い。中でも、「みんながいやがるようなことでも進んでするようにしている」という項目に対して否定的に回答している子供が16名と多くいる。</p>	<p>「目標への情熱」の中でも「目標を立てて、それを目指して頑張っている」の項目の自覚度が高い。授業では、単元のゴールである言語活動を意識して毎時間の学習に取り組んでいる子供が多く見られる。一方で、「忍：苦手なことにも自分から挑戦している」「粘：困った時に、工夫して解決しようとしている」の自覚度が他に比べて低い。苦手意識のある学習や困った時などには、いろいろと試行錯誤したり、進んで学習に取り組んだりできていないと感じている子供がいることが分かる。</p>	<p>「自制心」の自覚度が高く、自分のしなければいけないことを理解して授業に臨んでいることが分かる。また、「回復力」の自覚度も高く、上手くいかないことがあっても、気持ちを切り替えながら学習に取り組んでいる様子が伺える。一方で、「自分を信じる力」の自覚度が低い。特に「周りの人の意見に流されずに、自分の思った通りに行動している」の自覚度が低い。これは、ノートなどに自分の意見を表出できていても、発表になると消極的になってしまう授業中の姿からも伺える。</p>

#### 2 教科に関する子供の実態

- ・文章を書くのが好き(29名)・友達との話合いが好き(28名)・友達との話合いは大切(33名)
- ・以下の文章を書いたことがある
  - ①手紙(32名) ②物語(27名) ③説明文(28名) ④報告文(22名) ⑤紹介文(22名)
- ・絵の描き方を伝える作文の実態
  - ①助詞や主述の関係、言葉のつながりなどが正しい(26名) ②順序を表す言葉がある(28名)
  - ③大きさ・数を表す言葉がある(20名) ④場所や向きを表す言葉がある(29名)

#### 3 個別支援が必要な子供の実態

A児…一つのこと集中し続けることが難しい。また、自分から話合いに参加することは難しいが、友達が話しかけてくれると、嬉しそうに自分の意見を伝える姿が見られる。工作や絵を描くのが得意であり、友達から称賛されることも多い。

## 第2学年東組 国語科学習指導案

### 「1年生も1人でできるもん、マイおもちゃの説明書作り ～『おもちゃの作り方をせつめいしよう』～」



学習指導者 岡根 平

#### 1 本単元で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【授業の詳細】

本単元では、1年生が開いてくれたおもちゃパーティーのお礼としてプレゼントする、おもちゃの作り方の説明書を書くという言語活動を設定する。子供たちは、コロナ禍の一緒に活動ができない状況だからこそ、1年生が自分でおもちゃを作ることができるような説明書にするにはどうすればよいかと、問いを見いだし、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるような書き表し方の工夫を考えていく。子供たちはまず、教材文と教師が作った説明書とを見比べ、「数や大きさ、場所や向きを書く」「順序を表す言葉を使う」など、説明する内容を分かりやすく伝えるための書き表し方の工夫（書くし味）を見付けていく。その後、事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、その構成を基に、見付けた書くし味を生かして説明を書く。そして、分かりやすい説明書になっているか、実際に友達に説明書を見ておもちゃを作ってもらうことで改善点を見いだし、例えば、友達が説明と違う作り方をしている時は、「紙コップはそんなに切らないよ。『5センチぐらい』と付け足すとどうかな」「でも1年生だから『半分ぐらい』の方が伝わるかもしれないよ」「確かにそうだね。一番下まで切らないよ」という注意点をに入れてみようかな」「つながりが分かりやすくなるね。僕の説明も数やまとまりがきちんと分かるか読み返してみよう」と、説明書を見て実際に友達が作っている様子を見たり、質問したりしながら、1年生にとってより分かりやすい書き表し方になっているか、粘り強く考えていくのである。このように、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫していくことで、より分かりやすく説明できることを学んだ子供たちは、今後、説明する文章を書く際など、内容を分かりやすく伝えるために書き表し方を工夫しようとするのである。

#### 2 単元計画と働きかけの概要（本時 7/10）

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>① 説明書について知り、学習の計画を立てよう</p> <p>生活科で作ったおもちゃの作り方の説明書を書くという単元のゴールを設定する。1年生が自分だけでおもちゃが作れるような説明書を書くための学習計画を立てる。</p>	<p><b>見通し</b> 情【ゴールに近付きタイム】②～⑩</p> <p>学習計画を示すと共に、前時の成功体験を確認したり、1年生に進み具合を伝えた時の様子を見せたりすることで、課題解決の意欲を高められるようにする。㊦単元のゴールとのつながりを感じたり、相手意識を高めたりして、課題解決の価値を感じている姿を教師が即時的に称賛する。</p>
二	<p>②③ 分かりやすい説明書にするための工夫を見付けよう</p> <p>教材文と教師が作った説明書とを読み比べ、分かりやすく伝えるための書き表し方の工夫を見付ける。</p>	<p><b>行動</b> 粘【書いて試してよりよくショータイム】⑤～⑨</p> <p>複数の書き表し方の工夫を示し、それらが使えているか確認させ、多様な書き表し方の工夫について考えられるようにする。㊦課題解決に向け、書き表し方の工夫を多様に考えている姿を教師が即時的に称賛する。</p>
三	<p>④⑤ 説明書に書く内容を考えて、説明書の下書きを書こう</p> <p>おもちゃを作る手順のまとまりを基に簡単な構成を考える。それを基に説明書を書き、分かりやすい文であるか見返す。</p> <p>⑥⑦⑧ 「作り方①～④」をもっと分かりやすくしよう</p> <p>作り方ごとに説明を書き、それを基に、実際に友達に部品を作ってもらいながら、より分かりやすい書き表し方の工夫について考え、説明書を完成させていく。</p> <p>⑨ できた説明書の下書きを確かめよう</p> <p>できた説明書を使って、友達に一からおもちゃを作ってもらうことで、本当に1年生にとって分かりやすいかを確認する。</p> <p>⑩ 説明書を完成させ、学習を振り返ろう</p> <p>説明書の清書を書き、友達と内容や表現のよいところを伝え合い単元の学習の振り返りをする。</p>	<p><b>振り返り</b> 信【がんばり伝えタイム】②～⑨</p> <p>本時の課題解決に向けての頑張り度と、次にしたいことを振り返り、友達と交流する場を設ける。㊦本時の頑張りをつえられている姿を、教師が即時的に称賛する。</p>

3 本時の学習

目標	作り方②の説明書を基におもちゃを作ってもらい、その書き表し方について話し合う中で、より分かりやすい書き表し方の工夫について考え、説明書を分かりやすく修正することができる。
----	---

学習活動と働きかけ	主な子供の意識				
見 通 し	1 学習課題を設定する。	昨日は、1年生が作れるように「作り方①」の説明書を分かりやすくしたよ。 今日「作り方②」を分かりやすくして、1年生が作れるようにしていくよ。			
		「作り方②」をもっと分かりやすくしよう			
行 動	【ゴールに近付きタイム】 [目標への情熱]	1年生がおもちゃを楽しみにしてくれているみたいでうれしいな。1年生のために分かりやすい説明書にするぞ。			
	2 実際におもちゃを作り合い、より伝わる説明の仕方について話し合う。 【書いて試してよりよくショータイム】 [粘り強さ] (1) ペアで (2) 全体で	「書くし味」を使うと、説明をもっと分かりやすくできるんだっけ。 友達におもちゃを作ってもらって、分かりやすいか試してもらおう。			
		付ける場所はそこじゃなくて軸のはしなんだよ。「はしに」を付けたら分かりやすくなるかな。	場所がより詳しくなったからよく分かったよ。僕の説明もストローを付ける場所が分かるか後で見直そう。	紙コップの切り方や数はよく分かるけど、長さが分からないな。どこまで切ればいいの。	確かに長さが必要だね。でもセンチメートルだと1年生が分からないから「半分」という言葉はどうか。
		「タイヤを一つ付ける」「軸をストローに通す」の順序だと作りやすくなったよ。僕も後で順序を見直してみよう。	タイヤを先に作ると、ストローに通せないんだ。気が付かなかったよ。説明の順序を変えてみたけどどうか。	確かに「手を切らないように」は、切る時に注意しないとイケないね。切る説明の近くに書いたらどうか。	画用紙を切る時、手を切りそうになって危ないと思ったよ。最後に書いてくれているけど切る時には読まなかったよ。
	3 自分の書いた説明書を再考する。	友達は書くし味をそんな風に使ったんだね。自分の説明にも生かせるかな。 場所は書いていたけど、友達みたいに更に詳しく書くと分かりやすいな。 友達の作る様子を見たり、質問してもらったりすると、説明をより分かりやすくする工夫が見付かったよ。この説明なら1年生でも1人でできそうだ。			
振 り 返 り	4 本時の学習を振り返る。 【がんばり伝えタイム】 [自分を信じる力]	いろんな書くし味について見直したから、頑張り度は3だな。 次の時間には、作り方③を分かりやすくして、説明書を完成させたいな。 ○○さんは、どの言葉だったら伝わるか、何回も僕に質問していたね。 確かに、△△さんは、他にも使える隠し味はないか一生懸命探していたね。			

評価	作り方②の書き表し方の工夫や使っている言葉について、友達と話し合うことで、様々な工夫を使いながら粘り強く説明書をより分かりやすくすると共に、書き表し方を工夫することのよさを感じている。 <div style="text-align: right;">【方法：発言・様相・記述】</div>
----	---

## 働きかけの詳細資料

### ～見通し～ 情【ゴールに近付きタイム】(2～10時間目)

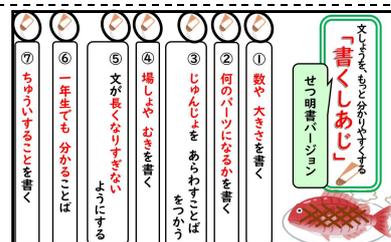
補助黒板に学習計画を示し、確認すると共に、前時の振り返りを基に、自分の成功体験を想起させたり、説明書を紹介した時の1年生の反応を写真や動画で見せたりすることで、課題解決に意欲をもって取り組めるようにする。本時はまず、前時設定した課題の理由を問い、前時できたことや、本時の課題とゴールとのつながりを確認する。その後、どんなおもちゃの説明書を作っているかを見せた時の1年生の様子や感想を紹介し、楽しみにしてくれている1年生のために、分かりやすい説明書を書きたいという意欲を高める。課題解決の価値を感じ、意欲的に課題解決に取り組もうとしている姿を教師が全体で称賛する。一つのことに集中しにくいA児には、本時することを示したカードを手元にも用意しておくことで、今行っている活動や、次何をすればよいかを視覚的に示し、活動や時間の見直しをもって活動に取り組めるようにする。



【1年生の様子を撮った動画】

### ～行動～ 粘【書いて試してよりよくショータイム】(5～9時間目)

説明書を書いたり、友達と考えた説明書を見直したりする時には、分かりやすく説明するための書き表し方の工夫を意識しながら活動できるように、これまでに見付けた「書くし味」を蓄積したものを掲示すると共に、一人一人の手元にも用意する。また、加筆修正するスペースのある用紙を用意し、簡単に文章を書き直すことができることを共通理解しておくことで、分かりやすい説明書作りに向けて、書き直しやすくする。本時は、「書くし味」を使って書いた説明書を基に、実際に友達におもちゃを作ってもらう時間を設ける。子供たちは、自分では様々な工夫を生かして説明書が書けたと感じていても、実際に友達がおもちゃを作る様子から改善点を見だし、さらに使えるような工夫を考えたり、相手意識を明確にもって言葉を吟味したりしながら、より分かりやすい書き表し方の工夫について考え、説明書を分かりやすくしていくのである。友達が困っていたり、説明と違う作り方をしようとしたりする様子が見られた時や、友達から次の作業が分からず質問された時に、その場で説明書を修正するという修正の手順を確認する。そして、どのような工夫が使えるかや、どのような言葉だったらより伝わるかを友達と吟味しながら説明書を修正していく。全体交流では、友達と話し合いながら使う工夫を増やしたり、1年生に伝わりやすい言葉に直したりできたことなどを取り上げ、そのことがより分かりやすい説明書につながったことを価値付ける。



【書くしあじ】



【活動の手順表】

自ら進んでペア活動に参加しにくいA児には、A児が工作が得意なことを生かして、先におもちゃを作る側からスタートすることを本人に事前に伝えておき、活動にスムーズに入れるようにする。また、役割を交代した時には、ペアの友達から積極的に作り方について質問することを事前にペアの友達と確認することで対話しやすい雰囲気を作り、安心して活動に参加できるようにする。

### ～振り返り～ 信【がんばり伝えタイム】(2～9時間目)

振り返りでは、本時の課題解決に向けての頑張り度と、次にしたいことを記述する欄を設け、本時の学習を振り返り、記述したことを友達と伝え合う場を設定する。頑張り度を伝え合う際には、まず自分の頑張り度とその理由を伝える。そして、伝えてくれた友達の頑張りに対してコメントするという手順を共通理解しておき、自分の頑張り度をより具体的に捉えたり、自分でも気付いていなかった頑張り度や、友達からのコメントを基に、本時の自分の頑張り度を捉えている姿を全体で教師が即時的に称賛する。

がんばりどぶんせきメーター名前( )		
日	なつたことをつかて、めあてがたっせいできた。	つぎの時間ががんばりたいこと
	☺☺☺	
	☺☺☺	

【頑張り度分析メーター】